

有効期間満了：2010年9月30日

案件名	「秩父宮賜杯 第41回全日本大学駅伝対校選手権大会」運営のカーボン・オフセット実施
申請者	株式会社 アサツー ディ・ケイ 社団法人日本学生陸上競技連合
案件の概要	全日本大学駅伝対校選手権大会は、名古屋・熱田神宮ー三重・伊勢神宮における8区間を、全国25大学と東海学連選抜の合計26チームにより競う駅伝大会である。第41回大会の運営部分（放送関係、式典関係、選手関係者の接遇関係）を算定範囲として、京都クレジット約50tの償却を予定している。 本大会ではこれまでも、沿道の応援小旗の廃止、プリント用紙・記録用紙の削減など環境対策を講じており、本年度の大会では、さらなる環境負荷低減を目指し自らの削減努力を行うとともに大会運営のカーボン・オフセットを行う。
認証区分・タイミング	I-2 会議・イベント開催オフセット 事前認証時及び事後確認時
カーボン・オフセットの主体（帰属先）	申請者（日本学生陸上競技連合5：アサツーディ・ケイ5）
算定範囲	駅伝大会は、大会競技運営、大会放送関係の運営（中継車など）、式典関係の運営、選手関係者の接遇関係の運営（ホテル、弁当など）、チーム移動関係、大会関連制作物関係、広報関係から構成され、そのうちの大会放送関係の運営、式典関係の運営、選手関係者の接遇関係の運営を算定範囲とする。
オフセット量 / 算定排出量	23t / 23t
クレジット種別	京都クレジット（種類：CER）
プロジェクト名	インド・カルナタカ州 NSL27.65MW 風力発電プロジェクト
無効化日	平成22年4月14日
情報公開	<p>【カーボン・オフセットに関する説明】</p> <p>カーボン・オフセットとは、自分の温室効果ガス排出量を「見える化」し、削減努力を行っても削減しきれない排出量の全部または一部を、他の場所での排出削減・吸収量でオフセット（相殺）する仕組みである。</p> <p>1906年から2005年までの100年間で地球の平均気温は0.74℃上昇しており、近年になるほどその上昇速度は加速している。また、この地球温暖化により、自然環境、生態系、気候などに様々な影響が出ている。地球温暖化の原因は、人間の活動によって排出される二酸化炭素（CO₂）が原因であると言われており、このCO₂を削減</p>

することで低炭素社会の実現を図り、地球温暖化を防ぐことは、現在から将来にわたる社会の大きな課題である。そのためには一人ひとりが主体的に削減努力を継続していくことが必要である。社団法人日本学生陸上競技連合と株式会社アサツーディ・ケイも、オフィス内の空調管理や照明管理、印刷物の削減などの活動を行っており、特に社団法人日本学生陸上競技連合は、学生への啓蒙についても積極的に行っている。本駅伝大会ではカーボン・オフセットを行っているが、これは照明管理や空調管理などの省エネルギー対策や、廃棄物の分別回収・リサイクルなどの温室効果ガス排出削減努力を行った後でも、どうしても排出されてしまう排出量を対象としている。参加者一人ひとりの努力によって、本駅伝大会における温室効果ガスの排出量を大きく削減することができる。そのため、来場時における公共交通機関の利用、ゴミの分別・持ち帰りなど皆様にご協力をいただく。但し、参加者への費用負担は一切生じないものとする。なお、本駅伝におけるカーボン・オフセット事業の主体は、社団法人日本学生陸上競技連合と株式会社アサツーディ・ケイの2事業者であり、帰属する環境価値の分配についてはそれぞれ半分（5：5）とする。

【オフセットの対象】

本駅伝大会のカーボン・オフセットでは、大会前の中継所設営からリハーサル、当日、大会終了後の中継所撤去及び廃棄物処理までを対象活動としている。具体的な対象活動としては、中継所設営や撤去の電力、機材運搬の輸送、開閉会式や選手・大学関係者・運営関係者の宿泊に係る電力、中継車及び併走車の燃料、テレビ中継に係る電力、廃棄物処理の輸送及び焼却などであり、選手、その他の参加者等の大会開催場所への移動は除く。

【算定量・算定方法】

CO₂排出量：23t・CO₂

（去年の大会での使用エネルギー実績から算定）

排出量については、大会開催前後の実績値を測定し、大会終了後に日本学生陸上競技連合ならびにアサツーディ・ケイのWEBサイトにて通知する。オフセット量が不足した場合、追加でオフセットを行う。

オフセット量：23t・CO₂

CO₂排出量は環境省のGHG排出量算定方法ガイドラインに基づき算出する。

有効期間満了：2010年9月30日

<p>【クレジットタイプの説明】 京都クレジット CER</p> <p>【クレジットの調達状況（調達期限・通知方法）】 調達に係る契約をあんしんプロバイダー制度参加事業者である三菱UFJリース株式会社と締結済み。 無効化は三菱UFJリース株式会社を通じて日本国政府の国別登録簿の償却口座へ移転。 調達及び無効化できた次第、その旨を日本学生陸上競技連合ならびにアサツーディ・ケイのWEBサイトにて通知する。 URL：http://www.iuau.jp/ URL：http://www.adk.jp/index_ja.html</p> <p>【プロジェクト情報】 インド・カルナタカ州 NSL27.65MW 風力発電プロジェクト NSL27.65MW Wind Power Project in Karnataka, India 排出削減・吸収量：572,478t- CO₂</p>
--